学校番号	3031

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「古典探究」古文編・漢文編　（桐原書店）						
副教材等	「トータルサポート新国語便覧」　（大修館書店）「新版理解を深める核心古文単語351」（尚文出版） 「新精選古典文法 三訂版」（東京書籍） 「構造から読み解く　これからの漢文　修訂二版」（尚文出版） 「新演習古典　アチーブ４　三訂新版」（いいずな書店） 「漢文の名言」						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典を深く理解するためには、毎回の予習が欠かせません。本文の予習をした上で授業に積極的に参加することを期待します。
・古文の読解においては、これまでに学習した文法事項（特に助動詞・敬語）の確かな理解を目指しましょう。また、様々な文章を読むために必要な、古文単語の知識を増やしましょう。
・漢文の読解においては、句法・重要字の理解が重要です。これまでに学習したものも含めて、確かな理解を目指しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	・古典文法や古文単語、漢文句法や漢文読解上の重要語の知識を身に付けている。 ・現代の言葉と古文・漢文との繋がりや差異を理解し、言語文化に対する考えを深めている。	・文法や語彙に対する正確な理解にもとづき文章を正しく読解し、解釈を深め、文章を読み味わっている。 ・他者との関わりの中で、自己のものの見方、感じ方、考え方を深め豊かにしている。	・a「知識・技能」およびb「思考・判断・表現」の内容に即し、主体的に学習に向き合っている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
通年	中国の思想 ［教材］ 「漢文の名言」	a:漢文における句法や重要字を理解している。 b[読]:文章を的確に読解し、中国の思想に触れる中で、自身のものの見方や考え方について考えを深めている。 c:a･b の内容に関して主体的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	成果物
前期	古文を読むⅢ ［教材］ 物語･日記	a:古典文法や語彙について理解している b[読]:文章を的確に読解し、作者の思いや登場人物の心情について考えを深めている。 c:a･b の内容に関して主体的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	成果物
	漢文を読むⅢ ［教材］ 思想･史伝	a:漢文における句法や重要字を理解している。 b[読]:文章を的確に読解し、文章から得られる教訓や登場人物の心情について考えを深めている。 c:a･b の内容に関して主体的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	成果物
後期	古文を読むⅣ ［教材］ 日記･随筆･物語	a:古典文法や語彙について理解している b[読]:文章を的確に読解し、作者の思いや登場人物の心情について考えを深めている。 c:a･b の内容に関して主体的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	成果物
	漢文を読むⅣ ［教材］ 史伝･随筆･漢詩	a:漢文における句法や重要字を理解している。 b[読]:文章を的確に読解し、文章から得られる教訓や登場人物の心情について考えを深めている。 c:a･b の内容に関して主体的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	成果物

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　１０５　）時間